

ちょー気持ちいい

文化 なかの

中野市公民館報



河原で水をかけ合う子どもたち

北部公民館講座

川原で遊ぼう & ストーンペインティング

北部公民館は8月5日(火)、子ども教室あるある夏休み探険隊「河原で遊ぼう&ストーンペインティング」を平成橋近くの夜間瀬川で開きました。

講師に自然観察インストラクターの畔上正雄さん、美津子さんを迎え、22名の児童と保護者ら6名が参加。子ども達は川に飛び込んで生物を探したり、竹で作った水鉄砲で撃ち合いをしたりと川遊びを満喫しました。

2008

No.42
(通巻No.574)

9

発行
中野市中央公民館

編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号

TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

今月号の
特集

編集委員体験取材

・あんと市
・セタまつり

あおぞら

八月初旬、沖縄旅行の機会に恵まれ、楽しい時を過ごしてきました。

透明できれいな海が気に入り、五年前から毎夏、家族で佐渡に行っていた息子達が、今年の夏は沖縄の海にしたから一緒に行こうと誘ってくれ、三世代6人での旅行となった。

エメラルドグリーンのでカラフルな熱帯魚との遊泳、亜熱帯の木々が茂るやんばるの大自然やパインナップル畑、夏の風物詩「エイサー」の見学、普通には読めない沖縄の地名や沖縄語、珍しい沖縄料理やおいしい南国のフルーツ、琉球王国時代から脈々と受け継がれる独特の文化に触れた旅でした。

真夏の沖縄へ?と思ったが、結果的には、ゆっくりと異国を思わせる文化や自然を楽しんだ思い出に残るものとなりました。

息子達が子供のころは、毎年この時期、地区の公民館事業としてバスハイク等の小旅行があり、近所の人達と大いに親睦が図られたものですが、いつの間にかそれもなく、時代の移り変わりを感じているところである。

(E・S)

・あんと市 東横町通り

農・工・商のコラボレーション

中心市街地の真ん中を東西に走る中央通りと東横町。西の中央通りは駅前からの玄関口。「商店街」のイメージそのままの道が続く。

東横町は高梨館跡や東山へと続く歴史の通り。中野陣屋・県庁記念館などもあり、中野市の伝統的街並の匂いを残している。夏の中央通りで恒例の「七夕まつり」と、東横町が始まったばかりの「あんと市」に編集委員が取材に訪れ、中心市街地の活気をレポートしてきました。

信州中野ゆめ倶楽部（武田宗市代表）では、毎月2回東横町商店街において「あんと市」を開催している。

東横町は陣屋や高梨城址に近く、歴史を感じさせる町並みが特徴であるが、「あんと市」開催時には更に元気な町になる。「農・工・商のコラボレーション」の合言葉が示す通り、新鮮な野菜や果物、地元産材を使った木工製品など、つい足を止めて見入ってしまうような商品がずらりと並ぶ。生産者の顔が見える商品販売はここ数年大手スーパー等でも販売戦略として取り入れられているが、あんと市ではそれが当たり前。「はいよ、一個おまけ。」最近めつきり聞くことの無かったこの言葉が生産者と消費者を結ぶ橋渡しとなるのかもしれない…。

高度経済成長期に分離してしまった農・工・商業が再び力を合わせ、街全体を豊かに活性化して行きたいと武田代表は力強く語ってくれた。

ちんどんさんが賑わいを演出



信州中野ゆめ倶楽部

代表…武田宗市氏。キノコで元気なまちづくりセミナー・元気なまちづくりフォーラム参加者を主とした有志で結成。中野名物の開発や、観光資源の活用などによる元気なまちづくりと地域活性化を目指して活動している。

り

つ

ま

る



ひな市（3月下旬）



バラ祭り（6月上旬）



（7月中旬）

特集

・七夕まつり 中央通り

商店街を彩る七夕飾り

当時の時代背景や街並な
装コンテストや宝探しなども、今では懐かしい子ども相撲大会も神社などで行われた。

商店主たちは御中元商戦でセールを開催。商工会議所は豪華賞品が当たるクイズ大会や商店向けの七夕コンクールなどを開いていた。催しは年々豪華になり仮装コンテストや宝探しなども、今では懐かしい子ども相撲大会も神社などで行われた。



商店街を覆う七夕飾り

■群星と化する商店街

中央通りの七夕まつりが8月6、7の2日間開かれた。笹に色とりどりの飾りをつけ、商店街は夕暮れから群星のように、来場者で賑わっていた。

七夕飾りは商店主たちのアイデアが溢れ、光の演出が美しく、人気アニメキャラクターを使ったものも、子どもたちに大人気。七夕飾りが商店街を天から覆い、道行く親子連れも潜る度に笑顔を見せていた。

催しは特設ステージでの演奏会や抽選会。BCリーグの信濃グランセローズの選手も来場し、華を添えた。

■七夕まつりの始まり

地域新聞の過去の記事によると、始まりは昭和30年代初頭に遡る。当時は商工会議所の音頭で、市街地市民が一体となって夏祭りを開いていた。七夕まつりは、数多い企画の中の一つだったようだ。

どを想像すると、なんとも賑やかな夏祭りだったのではないかと思う。夏休み中の子どもたちも、お盆まで続く催しに心を弾ませていたのではないだろうか。

■これから期待の新企画

今、中野市はひな市からえびす講まで、春から晩秋にかけて大小様々な祭りが続く。近年では市民有志による「なかのEBESU」や「あんとし」も開かれ、若者有志は野外ライブなどのイベントも企画した。

関係者の努力と苦勞に頭が下がる。人目を引く宣伝と楽しい演出で、もっと楽しませて欲しい。

歴史ある街並と近代的な建物が同時に並ぶ中野市。伝統の祭りや新興のイベントが一体となり知恵を出し合いながら大いに沸かせて欲しいと思った。

中野を彩



えびす講 (11月下旬)



シヨシヨまつり (7月下旬)



祇園祭

こんにちは 分館

南間長瀬区は、わずか三十軒の行政区ですが、小さい村なので、和気あいあいとした、家族のような仲の良い、とても協力的な地域です。

南間長瀬区の公民館事業としては、新年一月二日の子ども達を中心とした書初めで始まり、次にどんど焼き、春の球技大会は老若男女誰でも楽しむ事ができる、グラウンドゴルフ、ゲートボールを行い、球技終了後は、みんなワイワイ

とパーベキューなどでコミュニケーションをとることが出来ました。又、七月には、浜津ヶ池公園市民センターで今年三年目となる、そば打ち体験を行いました。講師の方に手取り足取り指導していただき、出来映えはともあれ自分で打ったそばの味は格別おいし

南間長瀬分館

いと感じられました。これからの事業としては、四ヶ郷球技大会、区と協賛の敬老会、同和教育懇談会、しめ縄作り講習会があります。分館事業を通じて、子ども達や区民の皆様との親睦と交流が出来る様、努

力していただきたいと思えます。(山口 太吉)



そば打ち体験をする参加者

ふるさととの歴史

南間長瀬の氏神「高位牧神社」は山をつかさどる大山祇命を祀っている。中野扇状地の扇端にどうして山ノ神を祀っているのだろうか。高位牧は字づらからすると、高井野(高山村)牧、地理的にみると笠原牧(中野市)を想定するが、当区の近くに笠原神社があるので混乱をさけて、高位牧神社にしたいと考えられる。

南間長瀬は中世の笠原牧で歴史の古いところだが、近世の村として成立したのは中野市村むらにあっては遅いほうである。以下はその理由である。当区の西方には砂田、島はたけ、

川畑などの地名が残っている。かつては用水堰もなく、このような水利に恵まれない地に人々は住みつきにくい。ところが近世の初頭、金井堰の流末がこの地を流れくた

南間長瀬の開発と氏神「高位牧」神社

り住み、金井堰の流末を利用して、この地の開発にあたった。言い伝えによると、開発者は海谷・山口・田中・久野・清水・霜鳥などであった。海谷は先頃先祖の屋敷跡を訪ねて保科(長野市)へ行っている。山口・田中は若宮の宮

下集落(現若宮と南間長瀬の中ほど)から南間長瀬に移り住む。南間長瀬の山口と若宮の山口は先頃までいききしていた。田中は同じ別れと伝えていた。久野・清水・霜鳥などの先住地については今のところ定説がない。

いずれにしろ、これらの人達の努力により南間長瀬地区の開発が進むが、領主から一村として認められたのが元和七年(一六二一)の福島正則検地のときであった。このときの村高は五六石余で他村より少ない。小石高とはいえず、村はむらである。高位牧神社はおそらく村びとの寄りどころとして、立村まもなく創建されたものでしょう。

(田中 毅)

編集委員 だより



北京オリンピックの柔道競技を見ていて剣道はなぜオリンピック種目にならないのかふと疑問に感じた。「あまりにも日本の過ぎるから?」と言うとそうでもない。前回の世界大会では四十四もの国と地域が参加し、日本代表は何とアメリカに負けている。優勝したのは韓国だ。実は想像した以上に世界に普及しているようだ。

以前からオリンピック種目化への動きは韓国から出ていたようだが、日本の剣道家の多くは反対していると聞く。おそらく剣道をスポーツとしてとらえる世界(日本も含めて)の潮流の中で、伝統的な剣道つまり礼儀正しさ、謙虚な態度、尊敬の念といった武士道精神が薄れてしまうことを危惧しているからであろう。

剣道において勝敗を決める有効打突とは「充実した気勢、適正な姿勢をもって竹刀の打突部で打突部位を刃筋正しく打突し、残心があるもの」と定義されている。先に竹刀を相手に当てるだけでは一本にならない。力や技だけではなく、自らの心の状態が強く投影されている必要性を意味している。このような精神的な側面こそが剣道の独自性であり、日本の文化として世界に誇れるものに違いない。将来オリンピック種目になったとしても電子器具を身につけ、ポイント制の競技になってしまうなら、何と味気ないものか。(え)

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

	講座名	日時	場所	講師	備考	
中央公民館	絵画教室	10/8 13:30~15:30 10/15 ” 10/22 ” 10/29 ” 11/5 ” (全5回 毎回水曜日)	中央公民館 教室	〈洋画家〉 坂入進一 先生	〈定員〉15名 〈受講料〉無料 〈持ち物〉絵画用具一式 〈申込み〉9月17(水)から	
	歴史講座	10/8 19:00~20:30 10/22 ” 11/5 ” (全3回 毎回水曜日)	働く婦人の家 2階 軽運動室	湯本軍一 先生	〈定員〉70名程度 〈受講料〉無料 〈申込み〉不要	
	国際交流の集い 中野市在住の外国人と日本人の国際交流パーティーを開催します。お気軽にご参加ください。 日時 10月12日(日)14:00~16:30 場所 中央公民館 3階 講堂 参加料 無料 申込み 不要		家庭教育学級 公開講座 演 題 「少年鑑別所で出会う少年たち」 講 師 長野少年鑑別所 吉村 雅世 所長 日時 10月2日(木)10:00~11:30 場所 中央公民館 講堂 参加料 無料 申込み 不要 ※託児あります			
	展 示 中央公民館 展示コーナー 23墨友会の水 墨 画 展					
北部公民館	絵手紙教室	9/18 19:00~21:00 9/25 ” 10/2 ” 10/9 ” (全4回 毎回木曜日)	北部公民館	市川典子 先生	〈定員〉15名 〈受講料〉無料 但し、はがき代1回100円 〈持ち物〉水彩用具一式 墨、描きたい素材	
西部公民館	すくのび学級 親子遊び&頑張るママの 心と体の潤いエアロ	普通 に 歩 け る 組 よ ち よ ち 歩 き の 組	10/15(水) 10/22(水) 10/29(水) 11/4(火) 11/11(火) 11/18(火) 11/26(水) 12/2(火) 12/16(火) 12/24(水)	西部公民館	関夕加里さん 黒岩あずささん	〈定員・各組〉15組 〈受講料〉無料 〈傷害保険料〉1人100円 〈持物〉子どものおやつ、 飲料水、タオル、シューズ 〈申込開始〉9月9日(火) 13:00から
	すくのび学級 おやつづくり教室	10/9(木)10:00~13:00	西部公民館	外山美由子さん 長島友子さん	〈定員〉20組 〈受講料〉無料 〈材料費〉500円 〈持物〉エプロン、ふきん 〈申込開始〉9月16日(火)から	
豊田公民館	フレンドリー 英会話教室	9月16日から3月まで 毎週火曜日 19:00~21:00	豊田公民館	レイリング・ デビット・マー ティン先生	〈受講料〉無料	

花郷

はなさと
Flower Home



ヒマワリ / 上今井(BUSI)



七夕 / 平和通り (月岡尚雄)



涼 / 自宅 (月岡尚雄)



新聞紙工作 (佐藤)

花と季節の写真 募集

文化なかの編集委員会では、読者参加型の公民館報にするため市民のみならず、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限ります。四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)編集委員が選び、10月号に掲載します。

氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前、写真のコメントを書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

宛先は中央・北部・西部・豊田公民館
☎ 383-0025

中野市三好町一丁目4番27号

☎ 22-2691 (有線20691)

Eメール c-kominkan@city.nakanonagano.jp

季節のコラム

運動会

秋の訪れとともに、保育園や小学校には運動会のシーズンがやってくる。先日の北京オリンピックでは、世界一の走りや技に感動させていただいたが今度は、子どもたちの出番だ。何事にも真剣に取り組む姿を見ると自然と声を大にして、応援したくなる。全力を出して頑張った子どもたち皆に金メダルをあげたい。